

沖縄県立高等学校編成整備計画等について

沖縄県教育庁総務課

沖縄県の高等学校数及び生徒数等について

沖縄県の県立高等学校 60校
私立高等学校 4校

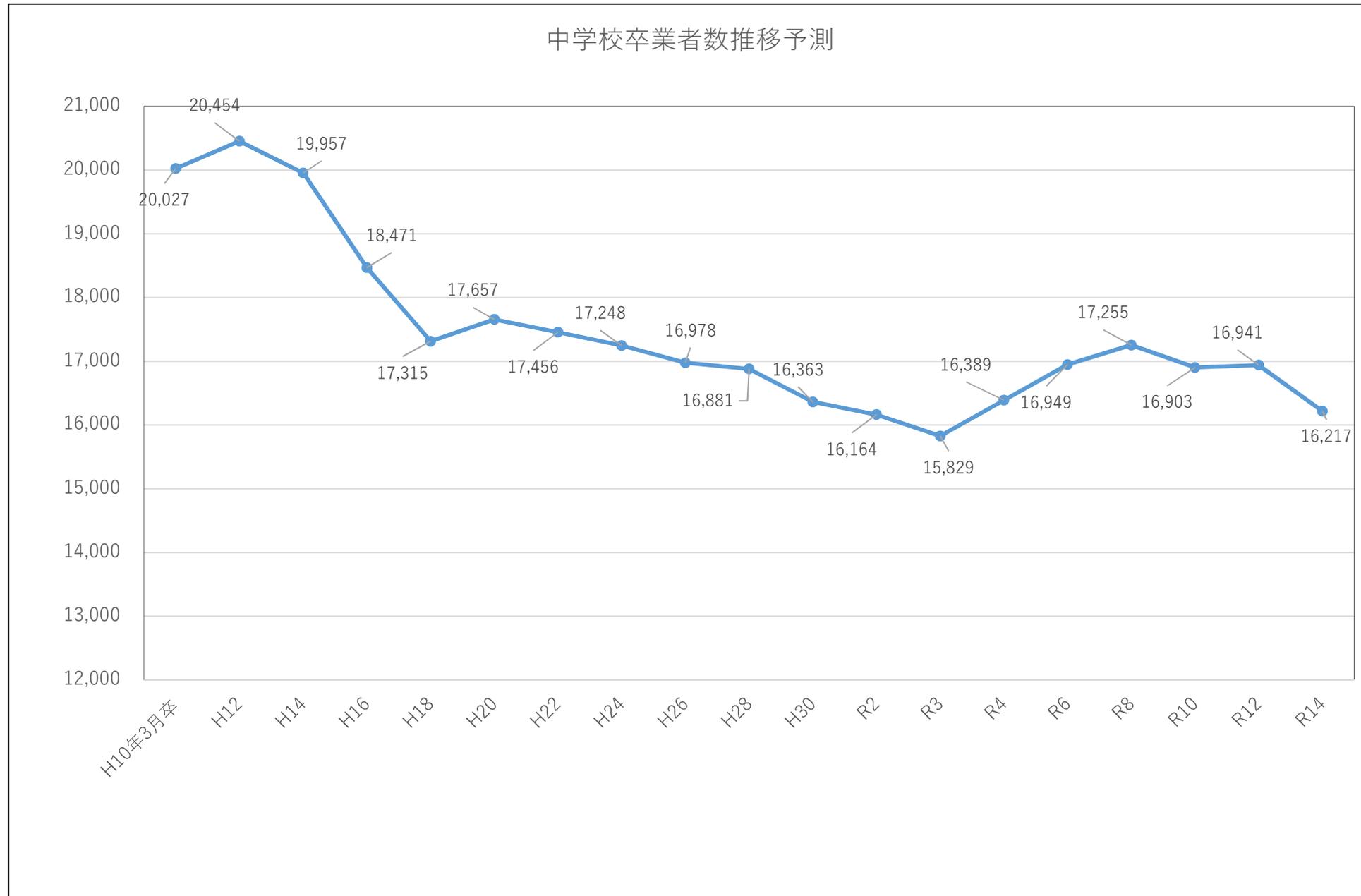
課程別にみると、全日制単独校 57校
定時制単独校 1校
全日・定時併置校 6校

令和2年度 生徒数は45,450人

全県設置状況

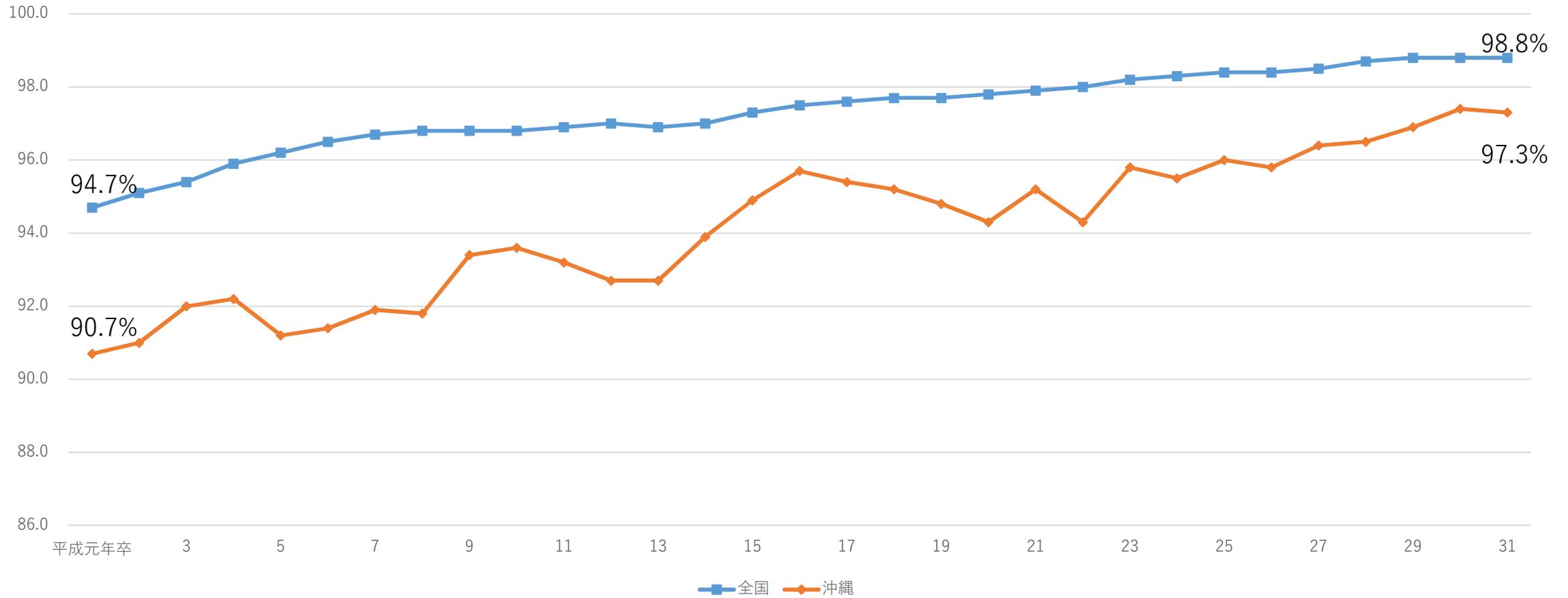


県内中学校卒業生数の推移予測



- 高等学校等進学率 $\text{進学率} = \text{中学校卒業者数} \div \text{高等学校等進学者数} \times 100$

高等学校等進学率(令和元年度学校基本調査)



沖縄県立高等学校編成整備計画について

高等学校の編成整備計画とは

- 県立高等学校編成整備計画は、少子化等への対応や多様な学習スタイルなどに十分対応できる教育環境の充実を図り、生徒・保護者にとって魅力的な学校づくりを推進することを目指して策定。
- 復帰後、第1期から第4期にわたる「県立高等学校編成整備計画」を計画・実施。
- 現在、第5期編成整備計画（平成24年度～令和3年度）を実施。
（県立高校の適正規模化や統廃合・学科改編を計画）

沖縄県立高校編成整備 基本的事項(スタンス)

【高等学校規模の適正化】

学校規模1学年4～8学級

高等学校においては、生徒の能力・適正・興味・進路等が多様化しており、それぞれの個性を最大限に伸ばすためには、一定程度の学校規模が必要。

【学校規模の適正化による教育的効果】

ニーズに応じた教育課程の編成

生徒の社会性を育てる集団活動

学習活動や部活動機会確保

沖縄県立高校編成整備 基本的事項(スタンス)

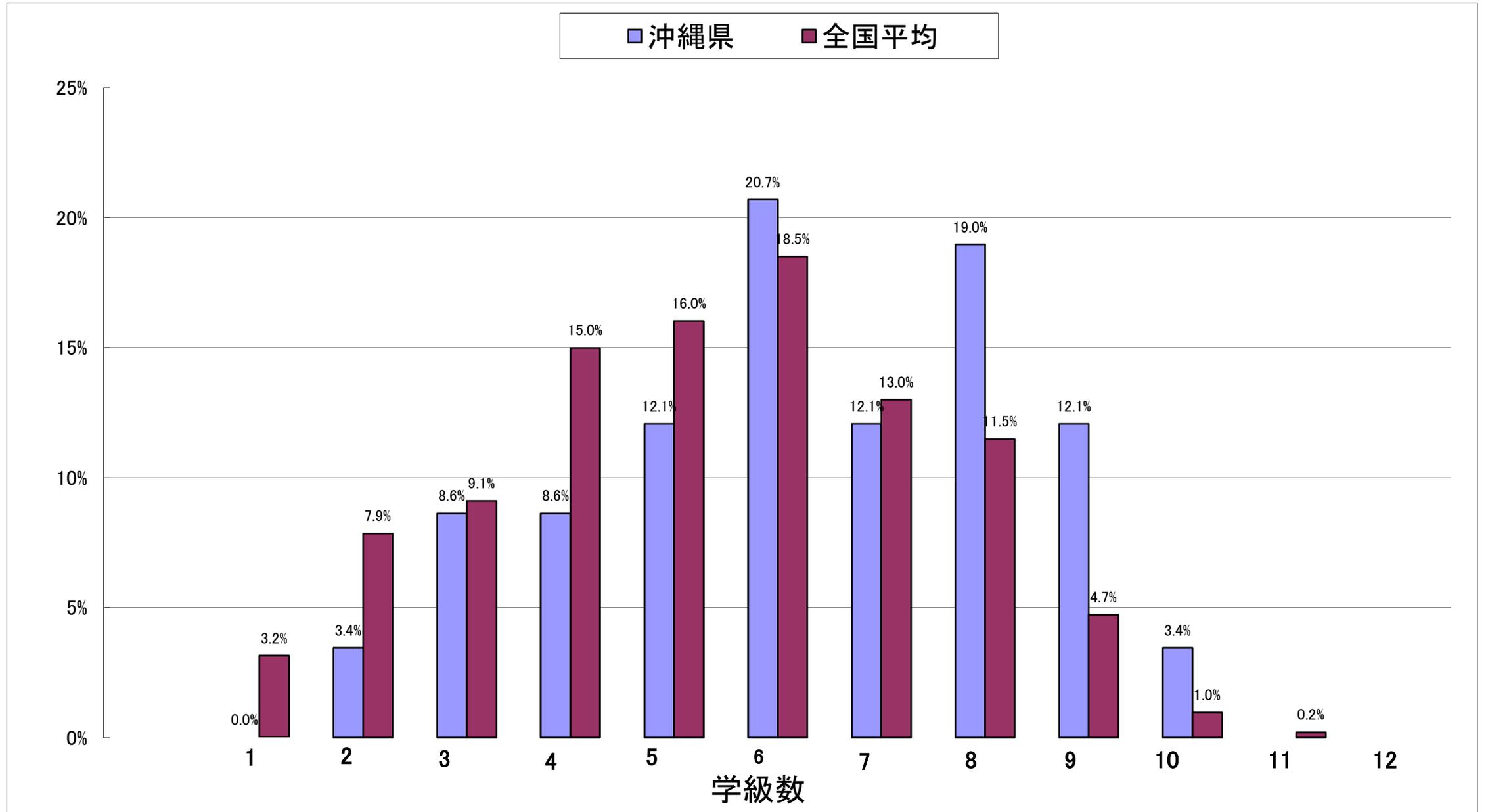
【募集停止及び学校の統廃合】

1学級以上の定員の過半数割れが2年連続で生じた場合は3年目から学級を減じ、これに係る募集停止を行う。

また、収容定員が240人を満たさないことが見込まれる学校は、地域の実情を十分考慮したうえ、分校化又は近隣学校との統合を検討。

さらに、小規模の学校において、将来にわたって生徒数が増加する見通しが立たないと見込まれる場合には、複数の学校間での再編統合を検討。

高等学校学級規模の割合



県立高等学校編成整備計画 実施状況について

- ①新しい学科の設置
- ②学校規模の適正化
- ③学校の統廃合

①新しい学科の設置

- 北部地域の教育環境の充実に資する目的で、平成27年度、県立名護高等学校に理数科等大学進学に特化したフロンティア科を開設。

②学校規模の適正化

- 過大規模校の適正化(1学級減)

平成26年度 首里高校(11→10)

平成30年度 那覇高校(11→10)

平成31年度 浦添高校(10→9)、小禄高校(10→9)

令和 2年度 コザ高校(10→9)、
普天間高校(10→9)

③学校の統廃合

- 本部高校を北山高校へ統合

本部町が、地域振興の観点から既存のまま本部高校の存続を強く要請し、町の予算で学習塾や同高校の魅力化を発信する地域コーディネーターを配置など同高校を支援する取り組みを行っていることから、計画は未実施。

- 辺土名高校を名護高校の分校化

地元からは、創立70周年記念式典(平成27年10月)を通して同窓会の活動が活発になったことや、地域振興の観点からも単独校としての存続を強く要請していることから、計画は未実施。

③学校の統廃合

- 久米島高校園芸科を廃科し、普通科園芸コースへ改編

久米島町が、園芸科の存続等を強く要請し、また、町の事業として久米島高校魅力化支援員の配置、離島留学推進や町営塾による学力向上支援など同高校を支援する取り組みを行っていることから計画は未実施。

- 伊良部高校を宮古高校へ統合

伊良部島の人口減少に伴い入学生の減少が続き、進路希望に応じた選択科目や体育の授業、学校行事、部活動が制限されるなど学校教育に支障が生じていることから、生徒の教育環境を第一に考え、平成31年度沖縄県立高等学校入学者選抜から生徒募集を停止。

離島の高校の状況等について

全県設置状況



久米島 久米島高校(普通科2学級、園芸科1学級)

宮古島 宮古高校(普通科5学級、理数科2学級)

宮古工業高校

(自動車機械システム科1学級、電気情報科1学級、生活情報科1学級)

宮古総合実業高校(生物生産科1学級、食と環境科1学級、
生活福祉科1学級、海洋科学科1学級、商業科1学級)

伊良部高校(令和2年度末閉校)

石垣島 八重山高校(普通科6学級)

八重山農林高校(アグリフード科1学級、グリーンライフ科1学級、
フードプロデュース科1学級、ライフスキル科1学級)

八重山商工高校

全日制課程(機械電気科1学級、情報技術科1学級、商業科2学級)

定時制課程(商業科1学級)

沖縄県離島等出身高校生に関する主な施策

【沖縄県立高等学校寄宿舎の整備】

- ・県立高等学校の寄宿舎は、離島や住居が遠隔地のため、自宅通学が不便な生徒に生活の場を提供するとともに、規律ある共同生活を送ることで社会性と協力心などを養う場とすることを目的に整備（離島出身者を優先的に入寮）
（県立八重山高等学校など県立高校11校、総定員数760名）

【沖縄県立離島児童生徒支援センターの整備】

- ・離島児童生徒支援センターは、高校のない離島出身者の経済的負担を軽減するとともに、離島振興に資するため、高校進学する際の生徒の寄宿舎と小中高校生の交流拠点としての機能を併せ持つ施設
（平成28年1月開所、寮定員120名）

【離島高校生修学支援事業】

- ・高校未設置離島を有する市町村において、島を出て進学する高校生の居住費や帰省費等を支援していくため国及び県の補助を受け事業を実施（年額24万円）。

ご静聴ありがとうございました。